



「父と暮らせば」

～読み語り芝居～



広島で被爆した父娘の心の交流を描いた井上ひさし氏の戯曲「父と暮らせば」の読み語り芝居を上演します。

語り継ぎたいことは原爆の悲惨さだけではなく、戦時下で一生懸命元気に明るく、明日を夢見ていた父娘の姿です。

【日 時】 令和8年9月12日(土) 10:00～正午

【定 員】 およそ 30 人 【費 用】 無 料

【申 込】 令和8年8月17日(月)午前9:00～
金古南足門公民館窓口・電話 (373-0409)・

【講 師】 岩渕 健二 さん
(高崎市人権教育講師)

【主催・お問合せ】

金古南足門公民館 (〒370-3531 高崎市足門町 930-5)

☎ 027-373-0409 (月曜日～金曜日 8:30～17:15 まで)

